分野別〔歯と口腔の健康づくり：乳幼児期〕取り組みの整理表

前提条件

【現状からみえる課題】
・

地域の取り組み

【現状からみえる課題】

【今後の取り組み】
・

行政の取り組み

【現状からみえる課題】

【今後の取り組み】
・保育園や幼稚園などで歯磨きの仕方を教える

住民の取り組み

【現状からみえる課題】
・１日の歯磨きの回数が少ない
・仕上げ磨きができていない
・親も食後の歯磨き習慣ができていない
・子どもが欲しがるので、おやつを沢山食べさせてしまう
・家族や友だちと箸・スプーンを共有して食べさせてしまっている
・外出時に食べさせるものを気をつけるのが難しい

【今後の取り組み】
・乳幼児期から歯磨き習慣を覚えさせる
・大人も一緒に食後の歯磨き習慣を気をつける
・帰宅後の手洗い・うがいを習慣づける
・食前のおやつは控えるようにする
・定期的に歯科健診を受ける

現状

・27 年度のう蝕罹患率は、２歳児から３歳児の間で急激に増加している

・う蝕罹患率は、県と比較すると、県より１歳６か月児は高く、３歳児は低くなっている
→う蝕罹患率
市：27 年度　県：26 年度
・１歳６か月児
市：　1.7%　県：1.3%
・２歳児
市：　3.1%　県：3.1%
・３歳児
市：10.7%　県：11.8%
・年少
市：15.6%　県：15.5%
・年中
市：24.6%　県：23.7%
・年長
市：34.1%　県：32.4%

・歯みがきをしない日が多い子どもほど、むし歯のある人が多くなっている

・おやつが１日３回以上だと、むし歯のある人が多くなっている

社会環境

【現状からみえる課題】

めざす姿（大目標）

お口の健康を保ち、歯を大切にしましょう。

分野別〔歯と口腔の健康づくり：学童期〕取り組みの整理表

前提条件

【現状からみえる課題】
・

地域の取り組み

【現状からみえる課題】

【今後の取り組み】
・子どもの歯医者に対するイメージを良くする
・子どもが親しみやすい歯科医院づくり

行政の取り組み

【現状からみえる課題】

【今後の取り組み】
・小学校で歯磨きテストを行う
・歯磨き指導を行う

住民の取り組み

【現状からみえる課題】
・子どもが正しい歯磨きの方法を知らない
・正しい歯磨きを定着させるまで面倒を見るのが大変
・勉強や遊びに忙しく、歯磨きにかける時間が少ない
・甘い飲み物、炭酸飲料などをよく飲む
・夜更かしをすると食べてしまう

【今後の取り組み】
・定期的に歯科健診を受ける

現状

・永久歯一人平均う歯数は、県と比較すると、県より高くなっている

市：27 年度　県：26 年度

・小学生のう歯罹患率
小学１年生
市：4.1%　県：2.2%
小学２年生
市：10.3%　県：5.0%
小学３年生
市：7.2%　県：9.4%
小学４年生
市：10.3%　県：12.3%
小学５年生
市：14.0%　県：17.1%
小学６年生
市：25.7%　県：19.5%
中学１年生
市：21.8%　県：27.2%

・１日の歯磨きの回数が少ないほど、虫歯のある人が多くなっている

・歯磨き剤を使わない人で、虫歯のある人が多くなっている

・フッ素塗布を受けている小学生で、虫歯のない割合が高い

・歯肉炎を知っている小学生は 70.1%、中学生は 83.4%。歯磨きの回数が少ないほど歯肉炎の認知度が低くなっている。

めざす姿（大目標）

お口の健康を保ち、歯を大切にしましょう。

社会環境

【現状からみえる課題】